

情報漏洩の危険性を学ぶ授業

げくもし

授業進行マニュアル

## コンテンツ

- 01 授業教材について
- 02 ブラウザゲームについて
- 03 指導のポイント

## 本教材の内容



テキストブック  
(PDF資料)



ブラウザゲーム  
(サイト)



ワークシート  
(PDF資料)



授業進行マニュアル  
※本教材



授業用スクリプト  
(PDF資料)

## 01 授業教材について

### 本教材の3つのポイント

「情報漏洩の危険性を学ぶ授業」の教材のポイントは以下の3点です。

#### ★ポイント1 SNS投稿から個人情報漏れる危険性に気づき、自分ゴト化する

近年、ネットやSNSのトラブルは多様化・複雑化しています。何気ない投稿から、住所や通っている学校、居住地域などの個人情報が漏れてしまう危険性を自分ゴト化できるよう、疑似体験型のブラウザゲームの実施を含む構成となっています。

#### ★ポイント2 「どんな投稿から情報が漏れているか」を見抜く力をつける

テキストブックには、実際に犯罪に使われた手口などをもとにして、具体的にどんな投稿から個人情報が漏れてしまうのかを解説するパートを設けています。解説の後に再度ブラウザゲームを実施し、危険な投稿を見抜く力の育成をめざした内容となっています。

#### ★ポイント3 投稿前に情報が漏れていないかをチェックする行動を身につける

ブラウザゲームは、「写真を選んで投稿する」という実際のSNSの投稿フローを参考に制作しています。「投稿する写真に個人情報が含まれていないか確認する」という具体的なスキルを習得することで、危険を回避する力を育てる内容になっています。

### 授業の設定

〔実施対象〕 中学生～高校生      〔実施時間〕 50分～55分

※中学生以下向けに実施いただくことも可能です

### 準備するもの

- ・ブラウザゲームを体験可能なインターネット環境
- ・パソコン、モニター（またはプロジェクター、スクリーン）、生徒用タブレット（またはパソコン※タッチパネル推奨）
- ・ワークシート 1人1ページ
- ・テキストブック
- ・指導者向け補助教材

↓教材のダウンロードはこちらから↓

<https://www.docomo.ne.jp/binary/pdf/corporate/bakumore.pdf>

## 02 ブラウザゲームについて

### ブラウザゲームの各ルート説明

- ・ **赤枠**が正解（個人情報が出ていない投稿）、**青枠**が不正解（個人情報が出ていている投稿）です。

#### 1 問目



〔漏れポイント〕

- 中央：マンホールの蓋の情報
- 右：電柱に記載されている住所

#### 2 問目



〔漏れポイント〕

- 左：瞳に映り込んだマンション名
- 右：指紋情報

#### 3 問目



〔漏れポイント〕

- 左：鍵のメーカーや番号、形状
- 右：自宅のベランダから見える景色

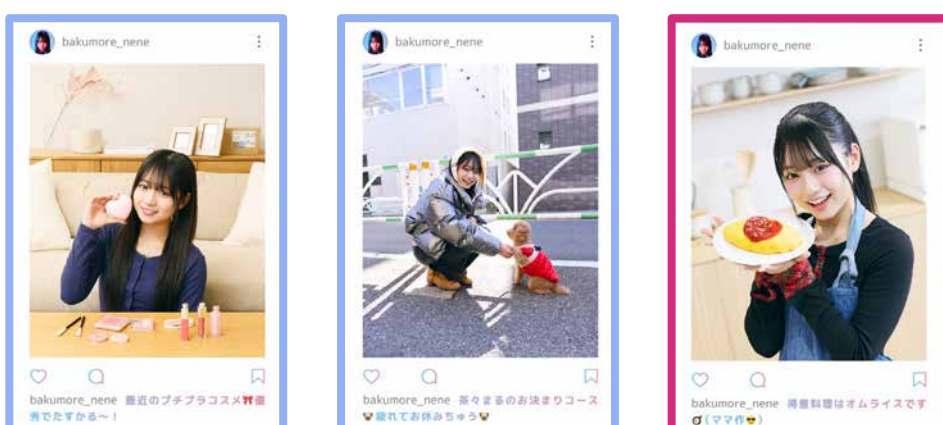
#### 4 問目



〔漏れポイント〕

- 左：制服情報
- 中央：バイト先と名前

#### 5 問目



〔漏れポイント〕

- 左：後ろに映り込んだ宅配物
- 中央：地域特有のガードレール

#### 6 問目




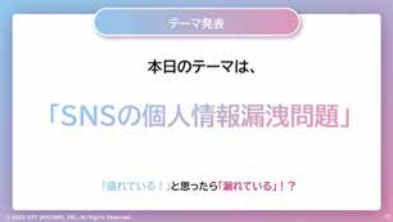


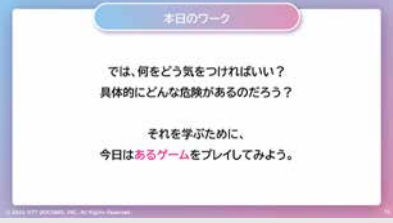

投稿する

投稿しない

〔漏れポイント〕

- SNSのアカウントを特定するために、罾として設置されている可能性がある

## 03 指導のポイント

テキストブック	指導のポイント
<p>所要時間：4分 (導入)</p>  	<p>①SNSクイズ (アイスブレイク)</p> <p>3つの投稿を見比べて、「盛れ」ではなく、個人情報「漏れ」ている投稿について考えます。 クイズを通して、授業のテーマ紹介につなげます。</p>
<p>所要時間：4分 (被害の実態)</p>  	<p>②学生とSNSトラブルの実態を伝える</p> <p>SNSが理由で学生がトラブルに巻き込まれている実態を知ってもらうために、データをもとに説明します。 補足資料として、学生のインターネット平均利用時間のデータにも触れています。</p>
<p>所要時間：10分 (ワーク)</p>  	<p>③ブラウザゲームでの演習 (ワーク)</p> <p>本ワークでは、ブラウザゲームの演習を通して、個人情報「漏れ」ている投稿をするとどんな事件に巻き込まれてしまう可能性があるのかについて、疑似体験してもらいます (5分間程度)。 QRコード読み取りまたはゲームのURLを生徒に共有し、「漏れ」ていない投稿を選ぶように促してください。 ※投稿画像を拡大 (ピンチアウト) して、情報が漏れている場所がないか、探すことができますので、生徒にお知らせください。</p> <p>演習の後、ゲームの登場人物について説明し、いま体験した内容が、実際に自分にも起こりうる可能性があることを説明してください。</p>

## 03 指導のポイント

テキストブック	指導のポイント
<p>所要時間：20分 (解説・ワーク)</p>  	<p><b>④実際の漏れポイントの解説と振り返りワーク</b></p> <p>全部で10個の個人情報の漏れポイントを解説していきます。漏れポイントと解説の内容は、ゲームに出てくる選択肢（個人情報が漏れている投稿）と同様の内容になっています。資料は「解説→漏れポイントの拡大写真→事例紹介」で構成されています。</p> <p>P54「複数投稿の危険性」では、マンホール（左）から居住地域特定、ベランダ（中央）からマンションと部屋の階数を特定、鍵（右）から合鍵を複製され、家に侵入されるという、複数の断片的な投稿を組み合わせる手口（モザイクアプローチ）の危険性を示しています。</p>
<p>所要時間：7分 (対策を考える)</p>  	<p><b>⑤個人情報を防ぐための対策方法を学ぶ</b></p> <p>SNSからの個人情報漏洩は投稿内容やアカウントの公開設定など、見直すだけで9割防ぐことが出来るといわれています（神戸大学大学院教授 森井昌克教授へのインタビューより）。</p> <p>投稿するときは、①写真（背景などに個人情報になりうるものが映り込んでいないか）、②テキスト（「近所」「帰り道」など、投稿画像が生活圏で撮影したものだと思われる投稿文にしているか）、③タイミング（「旅行中」「散歩中」など、家の不在やどこに行けば会えるかのヒントになるリアルタイムな投稿をしていないか）の3つをチェックするように説明します。</p> <p>また、自分の投稿によって、自分だけでなく、友人や家族の個人情報までも漏洩させてしまう可能性と責任についても、生徒に伝えてください。</p>
<p>所要時間：5分 (振り返り)</p>  	<p><b>⑥グループでの振り返りとワークシートの実施</b></p> <p>授業を踏まえて、個人情報の漏洩を防ぐために、SNS投稿をする際にどのようなことに気をつければよいか、ペアやグループで話し合ってもらいます（1-2分程度）。</p> <p>振り返りのあと、ワークシートで授業を通しての学びの復習をしてもらいます。</p>